

# 英語活動・英語研究委員会

## 1 研究テーマ

子どもたちが、英語や異文化に対して興味・関心を高めながら、意欲的に取り組む英語活動はどうあったらよいか

～コミュニケーション能力を高める場の設定にあり方～

## 2 研究内容（研究課題）

### (1) 研究授業

期 日 平成 21 年 11 月 18 日に実施予定だったが、インフルエンザによる学級閉鎖により実施できず。

学 校 名 高山小学校

単 元 名 「Lesson 7 What's this ? クイズ大会をしよう」

学 年 5 年

授業者名 鈴木左代子教諭

### (2) 研究内容

- ① 子どもたち同士が自然にコミュニケーションできる場面と学習内容の工夫
- ② 子どもたちが主体的にかかわれる学習活動の工夫
- ③ 小学校での英語活動をふまえ、中学校とどう連携していったらよいかの検討
- ④ 英語や異文化に対し、興味・関心を持たせる手立ての工夫

## 3 研究の成果（上記研究内容についての推進委員による事例発表から）

### ① 子どもたち同士が自然にコミュニケーションできる場面と学習内容の工夫

#### (1) 小山小学校から

「文字で見せすぎるのはよくない。」と指導主事の先生に言われた。英語に親しむとは、かけ離れてしまった。メインの会話だけでなく、付随の英語の会話が多かったか。

しかし、子どもたちは、店員の帽子や自分たちで作った牛乳のふたのお金などのお店らしさを工夫した場の設定の中で、英語での対話のやりとりに、楽しく取り組んでいた。すいている店に自分からすっと入っていく、自分から進んで友だちとかかわろうとする子どもの姿が見られたのも良かった。

### ② 子どもたちが主体的にかかわれる学習活動の工夫

#### (1) 相森中学校から

できるだけ短い時間に、誰もが多くの対話活動できるように、サークルモードを実施している。偶数の場合は、固定の生徒を必ず作る。